

ファイル選択画面

画面について

ファイル選択画面の利用方法について、説明する。本画面は、**FootcelMst モジュールの編集の際に、利用できる画面**である。FootcelMst モジュール内の各テーブルのフィールド名(シートの1行目)の先頭に、'※'印を付与すると、マウスのダブルクリックにより、本画面が、表示される。この画面で、選択したファイル名が、エクセルのセルに挿入される。

操作方法

以下が、ファイル選択画面の概要であるが、操作方法について、簡潔に記載する。

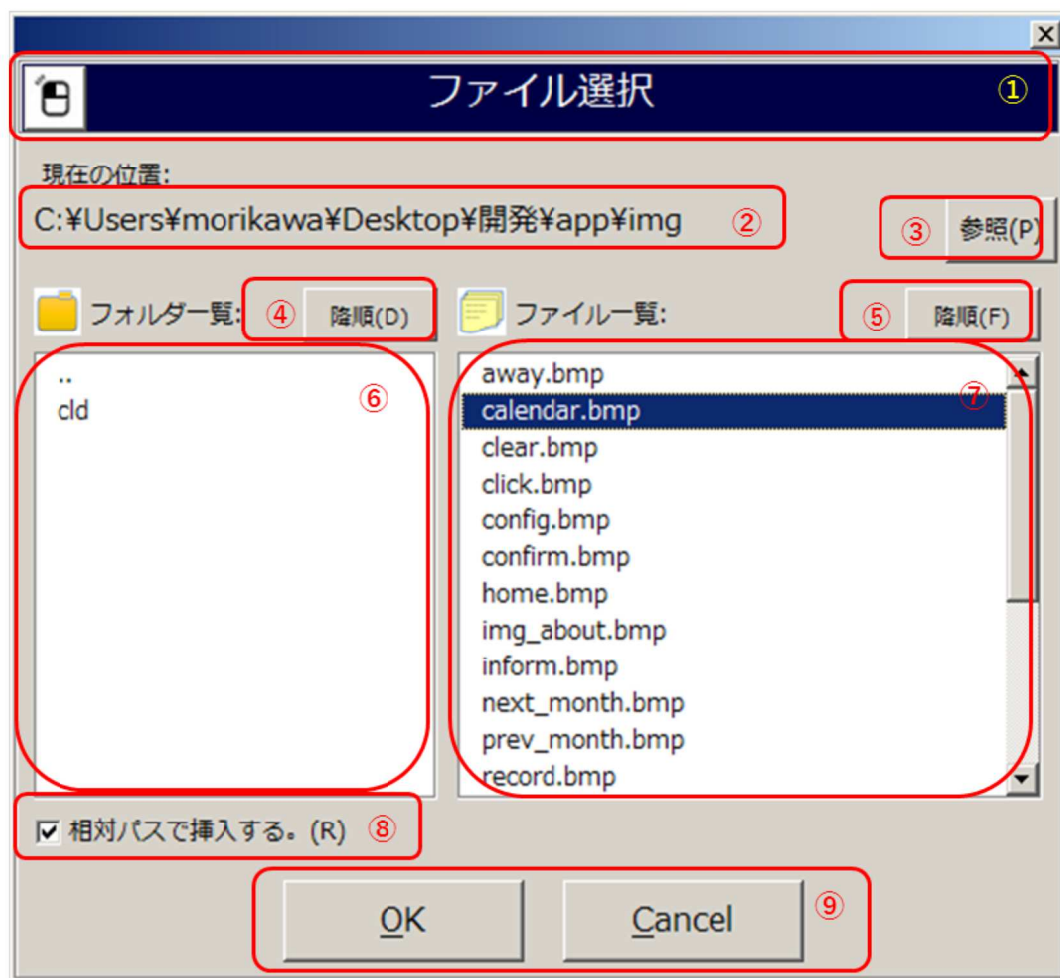


Fig. ファイル選択画面

- ① タイトルバー表示領域は、主に、画面についてのタイトルを表示する領域である。【ヘルプ】ボタンで、使い方(本書)を表示する。

- ② 現在の位置表示領域。現在表示されている、ファイル及びフォルダ情報の現在位置を表示する領域である。
- ③ 参照ボタン。このボタンを押下することにより、フォルダ選択画面を表示し、現在の位置を変更する。
- ④ フォルダー一覧降順ボタン。このボタンを押下することで、フォルダー一覧の表示順を、フォルダ名の昇順/降順により、並び替える。
- ⑤ ファイル一覧降順ボタン。このボタンを押下することで、ファイル一覧の表示順を、ファイル名の昇順/降順により、並び替える。
- ⑥ フォルダー一覧リスト。現在の位置に存在するフォルダを一覧表示する領域である。このリストをクリックもしくは、キーボードの【Enter】キーを押下により選択することで、現在位置を選択した位置に変更できる。
- ⑦ ファイル一覧リスト。現在の位置に存在するファイルを一覧表示する領域である。マウスクリックもしくは、キーボード入力により、ファイルを選択する。
- ⑧ 相対パス・チェックボックス。チェックを入れると、選択したファイル名を FootcelMst モジュールに対する相対パスで取得する。チェックを外すと、絶対パスでファイル名を取得する。
- ⑨ 【OK】、【Cancel】ボタン。選択したファイル名を確認し、問題がなければ、【OK】ボタンを押下する。キャンセルする場合は、【Cancel】ボタンを押下する。

アクセラレータ

【Alt】キーとの併用で、ショートカット可能な処理の一覧を以下に述べる。

キー	処理内容
【Alt】 + 【P】	フォルダ選択画面を表示し、現在位置を変更する。
【Alt】 + 【D】	フォルダー一覧の表示を、昇順/降順で切り替える。
【Alt】 + 【F】	ファイル一覧の表示を、昇順/降順で切り替える。
【Alt】 + 【O】	【OK】 ボタン押下と同等の処理を実行する。
【Alt】 + 【C】	【Cancel】 ボタン押下と同等の処理を実行する。

※ 【Tab】 キーで、画面の選択コントロール¹の変更が可能である。

¹ コントロールとは、画面で使用しているボタン、テキストボックス、リストなどの、ユーザインターフェースのことである。